

県内経済の動き

概況

〔4月～6月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（4月）は3カ月連続で前月比上昇。通関輸出額（5月 細島港）は、3カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（5月 全店ベース）は6カ月連続で前年同月比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は2カ月連続で減少した。新設住宅着工戸数（5月）は2カ月連続のマイナスとなり、公共工事（5月 保証対象請負総額）は増加に転じた。有効求人倍率（5月：1.49倍）は前月比0.01ポイントのマイナスとなった。6月の企業倒産は、前月比6件増の7件となり、負債総額も同8億21百万円増加した。

県内経済は、個人消費に力強さを欠くものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。